

事業名 : 浜坂サンビーチ de 砂あそびビーチ体験 2023

団体名 : 山陰ビーチサッカーネットワーク

1 事業内容

日時 令和5年6月13日～2月29日 期間実施

場所 兵庫県浜坂県民サンビーチ(兵庫県新温泉町芦屋)

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
6月17日	2023年度事務局調整会議 総会に向けた準備、各種日程協議	浜坂多目的集会施設 会議室	10人
7月3日	役員会/総会/三役会(2023年度事業計画・各種事業 打ち合わせ・検討課題の精査・2022年度事業報告 等)	浜坂多目的会議室	18人
7月20日	AED講習受講	B&G浜坂海洋センター	6人
8月6日	び〜ちふえすた2023 IN しんおんせん 大会(ビーチバレーボール大会・マリンス ポーツ体験)協力・支援	浜坂県民サンビーチ	10人
8月23日	事業運営会議	浜坂多目的会議室	12人
8月25日	ビーチサッカークリニック	浜坂県民サンビーチ	35人
8月26日	ビーチサッカー審判講習会	浜坂県民サンビーチ	20人
8月26日 8月27日	地球環境スポーツ「ビーチサッカーFESTA 2023 IN 山陰 海岸 shin-onsen」イベント実施 フレンドリークラス、オープンクラスの大会を開催した。同時に「砂あそびビーチエリア を開設し、スパイクボール体験、ビーチテニス体験、ビーチモルック、フレスコボ ール、宝探し、ビーチクリーン活動等、垣根を超えた新たな人との交流、多世代で交 流、つながりの場づくりを行った。その他試合の合間に誰でも参加楽しめるイベ ント(フットダーツ体験等)を実施した。	浜坂県民サンビーチ	2日間 818人
8月31日	事業運営会議(事務局会議)	浜坂多目的会議室	4人
9月9日～10日	全日本ビーチサッカー大会運営協力 (浜坂県民サンビーチ PR、ビーチクリーン)	明石市大蔵海岸	2人
10月14日、15日	ビーチサッカー国際親善試合運営協力 (浜坂県民サンビーチ PR、ビーチクリーン)	せんなん Long Beach	1人
10月31日	事業運営会議	オンライン	6人
1月9日	事業運営会議	オンライン	7人
2月29日	事業運営会議(事務局会議)	浜坂多目的会議室	4人
年間活動	浜坂サンビーチ周辺ビーチクリーンアップや その周辺清掃活動への積極的参加、協力		のべ 230 人

2 事業の効果

(1) 団体(組織)内の効果

・継続してイベントを実施することで、団体内におけるコミュニケーションの活性化が図られている。また、オンライン会議やSNS等を積極的に活用し、新しい形でのイベント事業構築に向け、メンバー間の意思疎通の活性化を図りながら他団体との連携協働体制の強化につなげている。コロナ対策が5類に移行して以降、徐々にではあるが、浜坂県民サンビーチを利用する機会が増えてきた。

(2) 地域への波及

・但馬地域はもちろんのこと、兵庫県全域、鳥取県東部住民(麒麟のまち圏域住民)との地域を超えた青少年のふれあい活動の推進を継続して行うことで、新たなつながりや新しいイベントを実施することが可能となり、地域の健全な青少年育成活動が図られている。

・浜坂県民サンビーチという地域の貴重な資源を地元住民のみならず、集客者の多くが改めて理解する機会となっている。特に、裸足で行う砂場コートについて、皆でビーチクリーン活動を行うとともに、裸足でサッカーや気軽な体験イベントを行い、素足で砂をつかむ感触や不整地な砂の上で行う活動から

足腰が強くなることの大事さを実感するなど多くの学びを得ている。8月末の気温が高い時期に主のイベント開催を行ったが、地元企業や飲料水メーカーの協賛を得て、水分補給飲料を参加全選手、スタッフに配布し、熱中症対策をしっかりと行うとともに、テントによる日陰エリアの充実、看護師待機など対策を行い、重大な傷病者なく事業を完遂することができた。

・本団体の目指す取り組みは、SDGs No.1 4「海の豊かさを守ろう」の開発目標に合致しており、スポーツとエコ（eco）の一体感づくり、ビーチスポーツイベントを通じた「浜坂県民サンビーチ」の環境保全意識を高める活動を広げていると実感している。

3 協働の相手方

（一社）すなばスポーツ：審判協力, B&G 財団：砂あそびビーチ体験ゾーン設置

4 今後の課題等

（1）団体（組織）活動を継続するための工夫等

・事業終了後の参加者ヒアリングの中で、地域資産を活用したイベント実施に賛同する声や若者同士で参加するスポーツイベントが少なく、本イベントの意義や参加する価値があるなど、「イベント事業効果が高い」との意見をいただいている。当団体としても、若い世代を徐々にスタッフのメンバーとして迎え入れ運営することを実践中であり、今後、少子化や人口減の中でも本イベントをどのような規模で実施していくかを検討していく必要がある。

（2）地域活動を拡大していくための工夫等

・但馬地域には、若者が主体となるイベントや事業が非常に少なく、地域を活性化し地元に着住する若者を増やすために、今後も継続して若者が主役となるイベントを開催し、但馬内外に広くPRすることが必要不可欠である。

・新温泉町をはじめとする但馬各地域においては、年々人口減少に拍車がかかり、特に40歳未満の若者人口が非常に少なく、地方創生、地域創生を含め、地域の若者の力を引き出していくことが必要である。



5年8月25日ビーチサッカー教室 (BS クリニック)



5年8月26~27日 ビーチサッカー大会会場全景



5年8月26~27日 フットダーツ体験



5年8月25~27日 ビーチクリーン活動